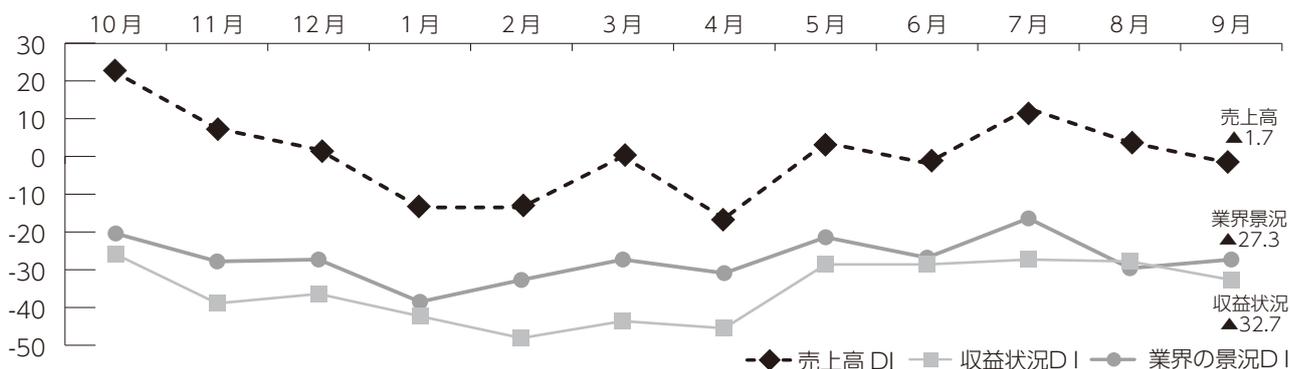


記録的な猛暑が経営に影響を与える

概況

記録的な猛暑の影響で季節商品の動きに鈍化傾向がみられ、商店街では来街者数が落ち込んだ。加えて、生花小売では花材不足となり仕入価格が高騰した。一方で、建築設計では小中学校の体育館への空調設備の導入に向けた設計需要が高まる。また、業種を問わず慢性的な人手不足による企業の舵取りが課題となっている。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁☔	☀	☁	☁☔☔	☁☔	☁	☁☔	☁☔
製造業	食料品	☀	☁☔	☀	☁☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔	☁☔
	繊維製品	☁	☁	☀	☁☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔	☁☔
	窯業・土石	☁	☁	☀	☁	☁☔☔	☁☔☔	☁☔	☁☔☔
	機械・金属	☁☔	☁☔	☁☔	☁	☁☔	☁☔	☁☔☔	☁☔☔
	その他	☁	☁☔	☀	☁	☁☔☔	☁☔	☁☔☔	☁☔
非製造業	卸売業	☁☔	☁	☀	☁	☁	—	☁☔	☁
	小売業	☀	☁☔☔	☀	☁☔☔	☁☔☔	—	☁	☁
	商店街	☁☔☔	☁☔☔	☀	☁☔	☁☔	—	☁	☁☔☔
	サービス業	☁	—	☁	☁☔	☁☔☔	—	☁☔	☁☔
	建設業	☁☔	—	☁☔	☁☔	☁☔☔	—	☁	☁☔
	運輸業	☁☔	—	☁☔	☁	☁☔☔	—	☁☔	☁☔☔



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>【菓子】 秋彼岸の期間は好調も、猛暑の影響もあってか他の期間が良くなく、売上は若干落ち込んだ。</p> <p>【製麺】 価格改定したことで売上は若干増加するも、人件費をはじめとした製造経費が大幅に上昇しており収益状況の悪化が続いている。</p>
織 維 製 品	<p>【織物】 設備操業度が上昇する組合員もみられるが、製造ロットがさらに小さくなり、採算の合わない状況になってきている。</p> <p>【外衣・シャツ】 異常気象の影響を受け、冬物衣料の注文が低調。</p> <p>【インテリア関連】 円安進行により収益が圧迫され、更なる価格改定が必要となりつつある。</p>
窯業・土石	<p>【生コンクリート】 出荷量は、大手メーカーの改修工事のあった東毛地域とショッピングモール工事のあった北毛地域で好調であった。</p> <p>【碎石】 公共工事量が少なく、今年度の生産・出荷量は前年比で1割以上減少している。電気料金が上昇する中、転嫁が進まず厳しい状況が続く。</p>
機械・金属	<p>【機械金属（高崎市）】 電気料金上昇分の転嫁は進む一方で、年度末にかけてコストダウン要請が出てくると睨んでいる。また、コロナ禍の落ち着きに伴い海外との取引増加を目論む。</p> <p>【半導体製造装置】 海外大手半導体メーカーの日本拠点設立が相次いでおり、今後の需要は高まる見通し。</p> <p>【船舶】 中国・韓国がシェアを伸ばしているが、日本では脱炭素の環境配慮型船舶の開発が進んでおり、巻き返しに期待をしている。</p> <p>【自動車関連】 S U B A R Uでは部品不足が解消され、下請企業は好転。コロナ禍前水準に戻った企業もみられる。一方で一部企業では、取扱う製品によって急な減産に見舞われるなど悪化もみられた。</p>
そ の 他	<p>【家具】 受注の低迷状況が続いている。大手小売店からの受注は比較的堅調も、中堅以下の小売店の落ち込みが顕著。</p> <p>【印刷】 資材価格の上昇が利益を圧迫する中、賃金や初任給の見直しが喫緊の課題。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>【事務用品】 経済活動の再開に伴いオフィス向けの販売が伸長し、売上は増加した。ペーパーレス化が進み、複合機やプリンターの需要は落ち込むも、電子帳簿保存法やインボイス制度の対応に伴うシステム見直しに関連する需要があるため、景況感是好転している。</p> <p>【タイヤ】 断続的な値上げにより2年前から2割以上の価格上昇となっている。また、円安進行により、海外需要は増加するも国内需要は落ち込む。</p>
小 売 業	<p>【石油】 在庫回転率の悪いスタンドでは、高く仕入れたものを周辺状況に合わせて安く販売せざるを得ないため、収益状況の悪化が顕著。</p> <p>【生花】 猛暑が続いた影響で花材不足となり、仕入価格が高騰している。売上は前年同水準であるも、収益状況が悪化した店舗が多くみられた。廃業の増加を懸念。</p>
商 店 街	<p>【前橋市】 イベントを実施したところ、多くの人で賑わった。飲食店2店舗の新規出店があり、集客につながることを期待している。</p> <p>【藤岡市】 円安進行により仕入価格の上昇が続く。猛暑の影響で来街者数は少なく、秋物季節商品の動きが鈍い。</p>
サービス業	<p>【四万温泉】 全国旅行支援事業の団体旅行が延長されたことにより、大型旅館では客数が伸びるも、中小の旅館は減少となった。また、人手不足の状況が続いている。</p> <p>【不動産】 高崎駅中心街のマンションは値崩れを起こし、建設中止となった事例もあり、今後の見通しを不安視。また、長期金利の上昇を見据えた駆け込み需要はみられない。</p> <p>【建築設計】 猛暑の影響もあってか小中学校の体育館への空調設備導入の案件が増えており、来夏に間に合うよう対応している。しかし、人手不足により受注を受けられない企業もみられる。</p>
建 設 業	<p>【建設工事】 アンケートを実施したところ、コロナ禍前と比較して経営状況が悪くなったと回答した企業が半数を超え、主な要因は資材・燃料価格の高騰と人手不足であった。</p> <p>【塗装工事】 価格転嫁に理解を示されつつあるも、賃上げは厳しい状況にある。</p> <p>【鉄骨工事】 建設現場の着工遅れや工程遅延が多くみられ、工場の生産計画の調整が困難な状況。また、鋼材価格については若干下がってきている。</p>
運 輸 業	<p>【一般貨物運送】 燃料価格は政府による補助が延長されたため値下がるも、原油高・円安の状況は変わっておらず今後も厳しい状況が予想される。荷動きについては、飲料水に落ち着きが見られる一方、大型機械設備の長距離輸送が順調であった。</p>

※本調査は、情報連絡員57人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。